

【育成を目指す資質・能力】	【単元目標】	評価規準
<p>○思考力、判断力、表現力等 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力</p> <p>○学びに向かう力、人間性等 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度</p>	<p>第2学年 A数と計算</p> <p>A(1)数の構成と表し方 (1)数の構成と表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ)一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすこと。</p> <p>A(3)乗法 (3)乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア)乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知ること。 (イ)乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。 (ウ)乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。 (エ)乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。 (オ)簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア)数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。 (イ)数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かすこと。</p> <p>学びに向かう力、人間性等 ・数量に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>知識・技能</p> <p>①乗法は、一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に用いられるなど、乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ②乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ③乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ④交換法則など乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ⑤乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 ⑥簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>①乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表したり、乗法の式を、具体的な場面に結びつけてとらえたりしている。 ②計算の仕方を振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。 ③日常生活の問題や算数の問題、情報過多の問題、算数以外の教科等の問題などを、乗法を活用して解決している。 ④既習の乗法やその構成の方法を基に、簡単な場合について、2位数と1位数の乗法の計算の仕方を考えている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①累加の簡潔な表現としての乗法のよさに気付き、ものの総数を乗法を用いて表そうとしている。 ②一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に、乗法を用いるとその総数を簡潔に求めることができるというよさに気付き、乗法の場面を身の回りから見付け、乗法を用いようとしている。 ③累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして、乗法九九を構成しようとしている。 ④簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を発展的に考えようとしている。</p>
<p style="text-align: center;">児童の実態（学力調査等の結果より）</p> <p>第1学年では、「10が6個で60」という数の理解を基に、10のまとまりがいくつと数えてものの総数を求めたり、数のまとまりに着目して数を2ずつ、5ずつなどの同じ大きさの集まりにまとめて数えたりするなど、乗法の素地的な学習をしている。</p> <p>1学期に行った標準学力調査では、文章問題を図に表したり、立式したりする問題で正答率が全国平均よりも約〇%以上低いことがわかった。このことから、授業では、読み取ったことを図で表したり、おはじきを操作したりするなどの活動を行い、改善を図ってきた。かけ算の学習においても、同様の活動を取り入れながら、「1つ分の数（まとまり）」や「いくつ分」「倍」について理解できるようにする。</p> <p>また、全国学力調査において割合の難しさが明らかになっており、本年度の本校の研究テーマを割合に絞り、全校で課題改善に取り組んでいる。本単元の「かけ算」は、直接、割合に関わる大切な単元である。2年生から割合を意識した授業を展開し、高学年で抵抗感なく割合の学習に取り組めるようにしていきたい。</p>		
<p style="text-align: center;">学びのゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 乗法に関して成り立つ性質やきまりを活用しながら、九九の構成の仕方を考えることができる。 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 乗法を生活や学習に活用することができる。 	<p style="text-align: center;">数学的活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法の場面を絵やアレイ図、おはじきなどの半具体物を用いて、「1つ分の数」と「いくつ分」を見だし、表現する。 乗法九九を構成したり、理解したりする際には、体験的な活動や身近な生活体験などと結び付ける。 	<p style="text-align: center;">数学的な見方・考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の関係に着目し「1つ分の数」を捉えてそれをひとまとまりとみて、その「いくつ分」と捉える。 「乗数が1増えれば積は被乗数分だけ増える」という計算に関して成り立つ性質を見いだす。

単元デザイン

乗法が用いられる場面や乗法九九について考察し、乗法の意味や性質、倍の意味を理解し、それらを用いる力を育てる。

既習事項	導 入		中 盤		終 末		発 展
	時	学 習 活 動	時	学 習 活 動	時	学 習 活 動	
1年 2ずつ、5ずつまとめて数えること 数の構成に基づく数の数え方	1	絵を見て、それぞれの乗り物に乗っている子どもの人数を調べる。 「どちらの方が人数を数えやすいかな」 (○思①：発表) (・知①：ノート・発表)	7 ～ 9	5の段の九九の構成を理解する。 5の段の九九を確実に唱え、適用する。 (○知⑤：ノート・発表) (・態①：発表)	32	乗法と積の関係や、乗法の交換法則についての理解を深める。 (○知④：ノート・発表)	2年 簡単な分数 3年 乗法の結合法則、分配法則 除法の意味 分数の意味
	2	絵を見て、全体の人数の求め方を説明する。 「かけ算の式をつくろう」 (○知①：ノート・発表) (・態①：ノート)	10 ～ 12	5の段の構成を基に、2の段の九九の構成を理解する。 2の段の九九を確実に唱え、適用する。 (○知⑤：ノート・発表) (・態①：発表)	33	簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考え、説明する。 (○思④：発表) (・態④：ノート)	4年 整数の除法 小数の乗除 小数倍
	3	乗法の場面を式や図で表す。 「2つの式のちがいは何だろう」 (○知③：ノート・発表) (・知④：ノート)	13 ～ 18	乗法について成り立つ性質を用いて、3の段・4の段の九九の構成を理解する。 3の段・4の段の九九を確実に唱え、適用する。 (○知⑤：ノート・発表) (・態①：発表)	34	○倍の長さを求めたり、図を見て基準量の何倍かを考えたりし、「倍」についての理解を深める。 (○知①：ノート・発表)	簡単な場合についての割合
	4	問題場面から数量の関係をとらえ、立式や答えの求め方について考える。 「正しい式はどちらだろうか」 (○知④：ノート・発表)	19 20	学習内容の定着を確認する。 (○知⑤：ノート)	35	ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、説明する。 (○思③：ノート・発表)	5年 倍数・約数 分数の通分・約分 小数の乗除 単位量あたりの大きさ 割合
	5 本 時	「1つ分の数」が変わると「ぜんぶの数」も変わることを理解する。 「長いテープの長さは何cmですか」 (○思①：発表) (・知②：ノート・発表)	21 ～ 31	(6の段・7の段・8の段・9の段・1の段)九九の構成の仕方を理解し、説明する。 九九を確実に唱え、適用する。 (○思②：ノート・発表) (・態③：ノート)	36 37	学習内容の定着を確認する。 (○知⑤：ノート) (○思③：ノート) (・知⑥：ノート)	6年 分数の乗除 分数・小数・整数の混合計算 比例と反比例 比
	6	身の回りからかけ算の式になる場面を見いだす。 「かけ算になる場面をさがそう」 (○態②：ノート・発表) (・思③：ノート)	期待する振り返り ・5の段は5ずつ増えていることがわかった。 ・2の段は5の段と同じように、同じ数ずつ増えている。 ・○の段と同じように□の段を作ることができた。		期待する振り返り ・かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じになることがわかった。 ・かけられる数やかける数が2ケタになってもかけ算の特ちょうを使って答えが出せそう。 ・たくさんあるものも、同じ数のまとまりをつくと計算しやすい。		
	期待する振り返り ・同じ数ずつだと数えやすい。 ・1つ分の数が同じだとかけ算の式にできる。 ・式を見て図に表すことができた。 ・図を使ってかけ算の式を説明できた。 ・「1つ分の数」が変わると「ぜんぶの数」も変わることを分かった。						